

尾奈学校だより

(尾奈小版)

R7.6月号



尾奈小



感じて動く 一宿泊学習での実践一

梅雨の候、PTAや地域の皆様には、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。新年度が始まって2か月が経ち、子供たちはそれぞれの学年での学びを深めています。1年教室前に植えた朝顔のつるも、子供たち同様、大空に向かって力強く伸びています。

6月5日(木)6日(金)に、4・5年生が、宿泊学習に行ってまいりました。場所は三ヶ日青年の家です。天候にも恵まれ、予定していたプログラムは全て行うことができました。

1日目のメインプログラムは、ウォークラリーとキャンドルセレモニーでした。ウォークラリーでは、都筑神社から青年の家まで、コマ地図を頼りにグループで歩く活動です。通常80分を予定するコースでしたが、グループの仲間と協力して予定よりも早く到着することができました。

キャンドルセレモニーでは、自分たちで司会進行を行い、物まねゲームやダンスなどみんなで考えた出し物で楽しい時間を過ごしました。みんなで活動し、みんなで笑い合える内容で、とてもよい空間でした。

2日目のメインプログラムであるダブルハルカヌーでは、2班に分かれてカヌーに乗り込み、声と心を合わせてパドルを漕ぎました。「1・2・ソーレ」と大きな声を出しながらカヌーが沖に進むことに喜びを感じながら、楽しむことができました。

何より立派だったのが、自然や周りの人、時間、そして自分の心持ちを**感じて**、進んで**行動**することができたことです。今回の経験を学校生活にも活かせるよう指導していきます。



都筑神社から出発する場面



キャンドルセレモニーの様子



ダブルハルカヌーにて出航

尾奈っ子集会では、5・6年生が躍動

集会は、いにしへの尾奈合戦を模した劇からスタートしました。「我は、南朝大将の宗良親王である」と5・6年生が歴史で学んだことをみんなに紹介しました。その後、運動会で行う尾奈合戦のよろいづくりの説明や的あてゲームをして楽しみました。

これから2学期に行う運動会に向けて、みんなで準備を進めていきます。地域の皆さんもどうぞお楽しみに！



5・6年生が合戦の様子を模した劇 尾奈の歴史に関するクイズを出題 ゲーム的当てを楽しむ様子

教えて先輩!あんなこと、こんなこと

尾奈の先輩や三ヶ日に関わりのある方からお話を聴いたり、体験したりする活動を行っています。活動を通して、世界が広がり、尾奈のよさを感じる子供たちを育てていきたいと考えます。



《堀尾さんの生き物講座》

4・5年生を対象に、生き物に詳しい堀尾さん(下尾奈)から「身近に住むこわい生き物」について学びました。スズメバチやマダニ等に気を付けることは勿論ですが、一番こわい生き物は…【蚊】だと聞いて、びっくりです。蚊が多くの感染症を媒介することを知り、その種類の多さや血の吸い方等も詳しく教わり、気を付けようと思いました。



《新藤さんの書写講座》

書家である新藤さん(下尾奈)が、3～6年生の書写の時間に指導に来てくださいました。筆の持ち方や用紙の使い方、姿勢などにも気を付けるよう声をかけていただき、丁寧に筆を進める子供たちでした。いつもより自信をもって書けていました。



《舟橋さんの万葉講座》

平那の峯に万葉集のうたがあるということで、歴史を学ぶ5・6年生のために舟橋さん(浜北在住)が見えて、万葉講座を行いました。

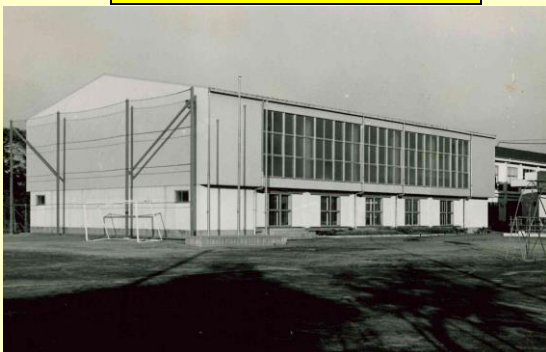
万葉の衣装に身を包み、平那の峯の石碑に刻まれたうたに音楽をつけて歌い、楽しみながら歴史を感じることができました。

さつまいもの成長が楽しみです

5月20日(火)に泉の農園にてさつま芋のつるを植えました。幼稚園と一緒に活動し、みんなで協力して、約150本のつるを植えました。水やりや草取り等をして、秋の収穫を楽しみにしたいと思います。



尾奈の歴史 70th



昭和55年に現在の体育館が完成しました。その当時は西校舎がなく、北校舎も2階建てでした。(北校舎には階段があった名残があります)今はあの当時より気温かなり高くなり、扇風機だけでなくスポットクーラーも準備されるようになりました。

校長のひとりごと

浜松市では、今から14年前の6月12日に、市内の学校でいじめを原因とした自殺がありました。そのようなことが二度と起きないように「命について考える日」が作られました。会礼では、あなたはあなただけ、一人で悩まず相談すること、一緒に成長する仲間として話をしよう、そして一緒にチャレンジしていこうと伝えました。

学校は、安全かつ安心してチャレンジができる場でなくてはなりません。子供たちの成長を支える存在として、家庭地域と一緒に考えていきたいと思っています。